

平成30年4月23日

報道機関各位

長岡市山古志支所産業建設課長



長岡市

今年は、国の重要無形民俗文化財指定から40周年！

山古志牛の角突き大会「初場所」を開催

国の重要無形民俗文化財であり、山古志の復興のシンボル「牛の角突き」大会（闘牛大会）の平成30年初場所を2日間にわたり開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力いただくとともに、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

山古志 牛の角突き大会「初場所」

- 日時** 5月4日（祝・金）・5日（祝・土）午後1時～3時（午前10時開場）
※4日午後0時30分からオープニングセレモニーを、
5日正午頃から餅つき体験&ふるまいを行います。
- 場所** 山古志闘牛場（長岡市山古志南平乙960番地）
- 入場料** 高校生以上 2,000円、中学生以下 無料
- 主催** 山古志闘牛会（電話0258-59-3933）
- その他**
 - ・5月20日（日）に文化財指定40周年の記念式典を予定しています。
 - ・今年の開催日は別紙のとおり



【山古志の牛の角突き】

山古志の牛の角突きの歴史は古く、千年前ともいわれ、「勝敗付けをしないで奉納の意味を深める」「牛の犠牲を少なくし、長く保有する」など、牛への思いやりから生まれた越後独特のルールにより、山古志と小千谷の角突きは日本で唯一、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

また、闘い終わった牛を15人ほどの勢子（せこ）が引き離しにかかるシーンなど、牛と人との迫力ある技の掛け合いも見どころの一つ。

（問い合わせ：山古志支所産業建設課
TEL 0258-59-2343）